

D

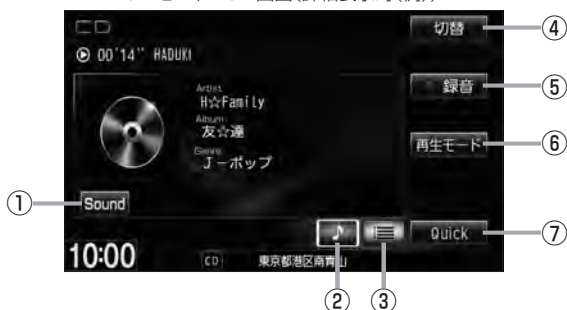
CD / MP3 / WMA を聞く

W
M
A
/
C
D
/
M
P
3

各部の名称とはたらき	D-2
タッチパネル部について	D-2
表示部(再生画面)について	D-3
未録音 CD を挿入すると	D-4
好きなフォルダを選ぶ	D-4
トラックリストより好きなトラックを選ぶ	D-5
MP3 / WMA ファイルについて	D-6

タッチパネル部について

CDモードTOP画面(詳細表示時(例))



MP3モードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound** ボタン

イコライザー画面を表示します。【P A-31

② **♪** ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。【P D-3

③ **≡** ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。【P D-5

④ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
【P A-12

⑤ **●録音** ボタン

録音開始画面を表示します。【P B-6

⑥ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
【P A-15

⑦ **Quick** ボタン

カスタマイズメニューを使用することができます。
【P M-2

⑧ **フォルダ●** / **フォルダ●** ボタン

前または次のフォルダを選択します。
【P D-4



アドバイス

- 録音(REC)中は画面に **録音中止** が表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては【P A-2を参照ください。

表示部(再生画面)について



Bluetooth対応携帯電話が登録／接続されている場合に表示されます。

① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示(*1)

アーティスト名表示／アルバム名表示／フォルダ名表示(*2)

* 1 印…CDモードの場合

* 2 印…MP3／WMAモードの場合

④ トラック名表示(*3)

⑤ 音場表示

選択中の音場を表示します。[A-28]

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

[A-31]

⑥ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましてはA-15を参照ください。

⑦ 再生モード表示

MP3 …MP3モード／WMA …WMAモード



アドバイス

●アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(*1)
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)

●ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。(*2)
※ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。

●タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

●DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下のようになります。

・DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名／トラック名／アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。

・CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのアーティスト名／トラック名／アルバム名／ジャンル名が表示されます。

・DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名／アーティスト名／アルバム名は全て“No Title”と表示されます。

・本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。

・CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK 1…”と表示され、タイトル表示されません。

※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。

●アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

* 3 印…トラック名がない場合は、ファイル名を表示します。(MP3／WMAの場合)

未録音CDを挿入すると・・・

※ CDモードの場合

本機に1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ全曲の録音を開始します。[?]「未録音CDについて」B-5

※録音方法が自動録音に設定されている場合です。



録音を停止したい場合は、**録音中止**をタッチしてください。



- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。

[?]「アルバムリストの編集(曲管理)」E-14

- ※ Music Rackにつきましては[?]「Music Rackの機能／構成について」B-8／「各部の名称とはたらき」E-2を参照ください。

※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。

- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF→ONにした場合は再度録音が開始されます。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。[?] B-4
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。[?]「CDを録音する」B-6

好きなフォルダを選ぶ

※ MP3／WMAモードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダ●／フォルダ●をタッチする。

- 前のフォルダに戻る場合

フォルダ●をタッチする。

- 次のフォルダに進む場合

フォルダ●をタッチする。



トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

CDモード TOP画面(詳細表示(例))



アドバース

TOP画面は選択する  /  によって詳細表示／トラックリスト(ファイル)表示となります。

CDモード TOP画面(例)



詳細表示

 タッチ

 タッチ

CDモード TOP画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバース

-   を押してトラックを選択することもできます。[A-13]
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、つづきを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。
- CDモード時のトラックリストについて
 - ・ CD-TEXT 情報または Gracenote データベースタイトル情報が表示されます。
 - ・ タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
 - ・ TOP画面を詳細表示に戻したい場合は  をタッチしてください。(上記アドバース参照)

● MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

・ MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

● WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

Windows Media Audio Standard フォーマット以外のフォーマットには対応していません。

● トラック名／アーティスト名／アルバム名表示について

曲のタイトル、アーティスト名などをID3タグ(MP3用)やWMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って保存、表示させることができます。

● CD-R / CD-RWについて

・ CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

・ 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

● MP3 / WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

● マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once” で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。



アドバース

● ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

● ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 / WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

● 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

● MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル / WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3 / WMA ファイル以外に、“MP3” / “WMA”の拡張子を付けしないでください。

MP3 / WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

- MP3 / WMA の音楽ファイルは MP3 / WMA / SD / USB モードで再生することができます。
(下記☆印参照)
- 音楽ファイル MP3/WMA の規格について

使用可能なメディア☆	CD-R、CD-RW DVD ±R、DVD ±RW	SDカード、 SDHCカード	USB フラッシュメモリ
再生モード☆	MP3/WMA モード	SD モード	USB モード
再生可能なMP3/ WMAファイルの規格	・MP3・・・MPEG Audio Layer 3 ・WMA・・・Windows Media Audio ※m3u / MP3i フォーマット/ MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには 対応していません。 ※WMA9 Professional / WMA9 Losslessには対応していません。 ※2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。		
再生可能なMP3/WMA ファイルの拡張子	MP3、mp3、WMA、wma（大文字、小文字どちらでも使用可能）		
使用できるメディア フォーマット	拡張フォーマットを除いた ISO9660レベル1およびレベル2 ※パケットライトには対応していま せん。	FAT16 / FAT32	
最大フォルダ名/ ファイル名文字数	全角32 / 半角32文字	全角32 / 半角64文字	
フォルダ名/ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角/半角)、0～9(全角/半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水 準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の 最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数:ルートフォルダ含む)		
1メディア内の 最大ファイル数	999	10,000	
最大フォルダ数	255	400	
表示可能なID3タグ/ WMAタグ	トラック名/アーティスト名/ アルバム名	トラック名/アーティスト名/アルバム名/ ジャンル名	
ID3タグ表示可能文 字数	Ver 1.0/1.1 : 全角15/半角30文字 Ver 2.2/2.3 : 全角32/半角64文字		
	※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バーゼ ョン2のタグを優先します。		
WMAタグ表示可能 文字数	全角32/半角32文字	全角32/半角64文字	
ID3タグ/WMAタグ 推奨文字コード	シフトJIS		
ジャケット写真	非対応	対応*	

※著作権保護された WMA は再生できません。

*印・・・MP3 / WMA ファイルのジャケット写真表示につきましては、 H-11 * 印を参照してください。

- 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート(kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※ VBR : 可変ビットレート

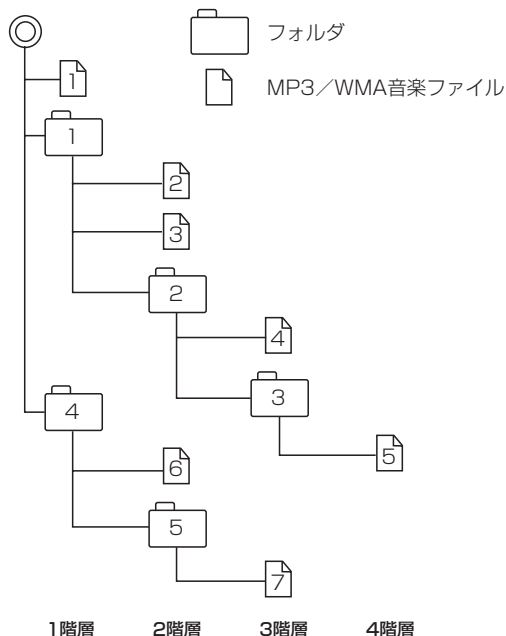
WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※ VBR：可変ビットレート

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで記録されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいたくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

● 階層と再生順序について



[以下はCDのMP3 / WMAのみ]

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3 / WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、**①→②→③→④→⑤→⑥→⑦**の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMA ファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● MP3／WMA ファイルの作り方について

MP3／WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

● インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

● 音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

● CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMA ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RW ドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



オーディオ

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMA ファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMA ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

E

Music Rackを使う

各部の名称とはたらき	E-2
タッチパネル部について	E-2
表示部(再生画面)について	E-3
リスト表示より好きなトラックまたは	
アルバムを選ぶ	E-4
選曲モードより選ぶ	E-6
アルバムリストの編集(曲管理)	E-14
アルバム編集をする	E-14
再生選択をする	E-19
お気に入り登録をする	E-20
ジャケット写真を登録する	E-21
削除する	E-22
トラックリストの編集(曲管理)	E-23
トラック編集をする	E-23
再生選択をする	E-26
お気に入り登録をする	E-27
削除する	E-27
お気に入り进行管理する	E-28
再生中の曲をお気に入り登録する	E-30
再生中の曲のジャンルとミュージック	
エスコートを設定する	E-32

タッチパネル部について

Music RackモードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound** ボタン

イコライザー設定画面を表示します。【P A-31】

② **♪** ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。【P E-5】

③ **≡** ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
【P E-4】

④ **▶** ボタン(アルバムリスト)

アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。
【P E-4】

⑤ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
【P A-12】

⑥ **選曲モード** ボタン*1

6種類の選曲モード(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。【P E-7】

⑦ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
【P A-15】

⑧ **編集** ボタン*2

アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変えたり)、ジャンルの変更、ジャケット写真の登録、再生選択やお気に入り管理などをすることができます。
【P E-14、E-23】

⑨ **登録** ボタン*2

再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル/ミュージックエスコートに変更することができます。
【P E-30】

⑩ **Quick** ボタン

カスタマイズメニューを使用することができます。
【P M-2】



アドハイス

●パネル部に配置されているボタンにつきましては【P A-2】を参照ください。

*1 1印…走行中は操作できる機能が制限されます。

*2 2印…走行中は操作できません。

表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ►► : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ トラック名表示

④ 選曲中の選曲モードの内容を表示

※どの選曲モードを選んでもアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合、表示される選曲モードは「全曲」表示となります。

[A-28] 選曲モードE-7

⑤ アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示

⑥ 音場表示

選曲中の音場を表示します。[A-28]

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

[EQ] マークが表示されます。

[A-31]

⑦ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましては[A-15]を参照ください。

⑧ ジャケット写真表示

ジャケット写真が登録されている場合に表示されます。

[E-21]



アドバイス

●アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ・英数対応しています。)

●タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。

※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

●アーティスト名／トラック名／アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は「新規アーティスト」／「トラック××」／「新規アルバム△△△△ △△△」と表示されます。

※××にはトラック番号、△には録音した西暦・月・日の数字が入ります。

●実際と異なるトラック名／アルバム名表示のまま録音した場合は、異なった情報のまま本機に録音されます。

●ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は「その他」と表示されます。

リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選ぶ

選曲モード(🔍 E-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。

1

📁 または 🎵 をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ 📁 をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



選曲モード(🔍 E-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックリスト表示となります。

■ 🎵 をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。



選曲モード(🔍 E-7)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。

※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバム表示となります。

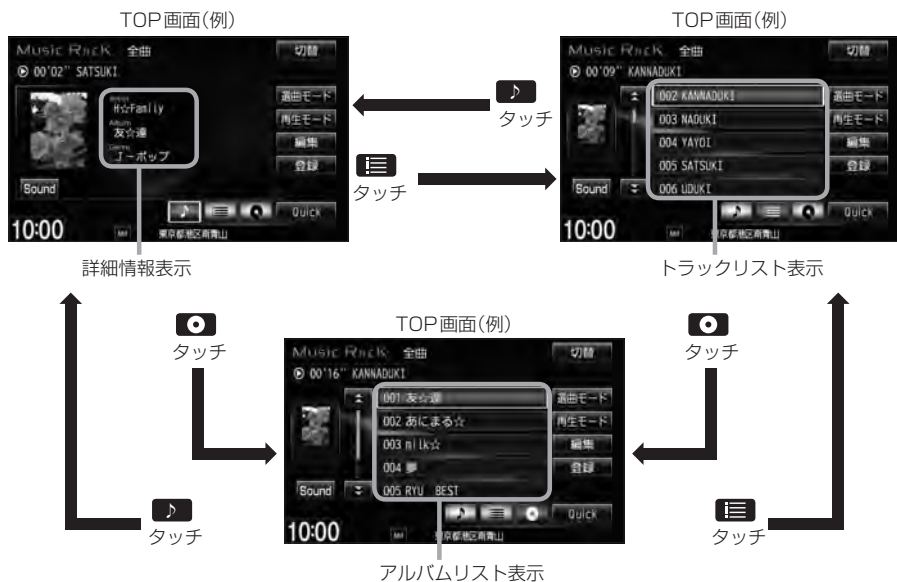
※選曲モードでジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選ぶ



アドバイス

TOP画面は選択する / / によって詳細情報表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。



- 選曲モード(E-7)で“アーティスト”を選択すると、選んだアーティストのトラックリスト／アルバムリスト表示となります。
- 選曲モード(E-7)で **ジャンル** / **ミュージックエスコート** / **お気に入り** (お気に入りトラック)を選択した場合は、 は選択できません。

2

再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- を押してトラックを選択することもできます。 A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

E-6 選曲モードより選ぶ

本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲モードの各ボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート)に自動でふり分けれます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

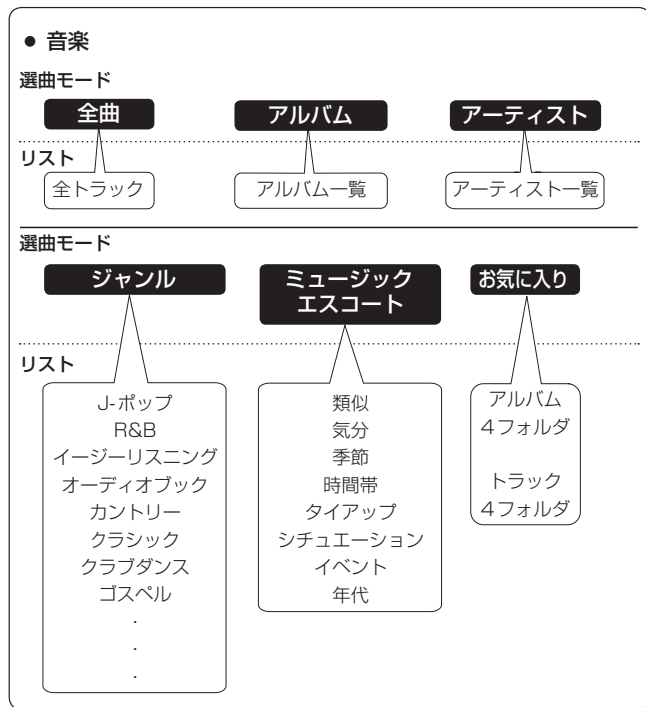
※録音された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。録音につきましては[B-6]、Gracenote データベースの更新につきましては[B-13]をお読みください。

本機のお好みの曲だけを集めた“お気に入り” ボタンもあります。

※“お気に入り” ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

[B-13]「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30

Music Rack モード イメージ図



※アルバムや曲の削除/再生選択を行なうと、トラック情報画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

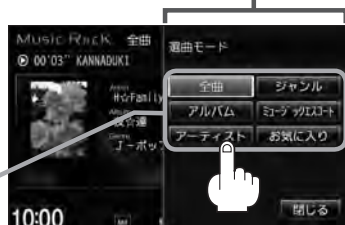
Music Rackモード TOP 画面
(詳細表示時(例))

2

選曲モードより選曲する方法(**全曲** ／
アルバム ／ **アーティスト** ／ **ジャンル** ／
ミュージックエスコート ／ **お気に入り**)を
 選択する。

選曲モード画面

選曲モード

Music
Rack

アドバイス

リストの操作について**走行中の場合**

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点で、アルバムの最初から再生が始まります。

トラックリスト画面(例)



※録音した曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチすると TOP 画面に戻ります。

■ 全曲 をタッチした場合

：トラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

■ アルバム をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。



：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



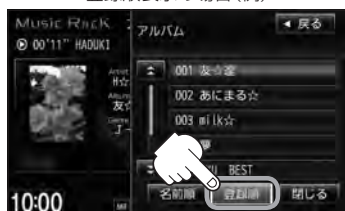
：選択した曲を再生します。



アドバンス

アルバムリスト表示(①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

登録順表示の場合(例)



1. 登録順 をタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。
アルバム名のよみ(“アルバムよみ”)が入っていないと正しく
名前順に表示されません。アルバム名のよみが入っているも
のをリストより名前順に並び替え、さらにその下によみが
入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
(アルバムの編集は「E-14参照」)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にして
も他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

■ アーティスト をタッチした場合

：アーティストリストが表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

名前順表示の場合(例)



：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

② 再生させたいアルバムをタッチする。



：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。



アドバイス

- アーティストリスト／アルバムリストには、タイトル名がある(Gracenoteデータベースにヒットした)場合にリストに表示されます。
- アーティストリスト(手順①)／アルバムリスト(手順②)表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. 登録順 をタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ(“アーティストよみ”の項目を選択し編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(Ⓔアルバム／アーティストの編集はE-14参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

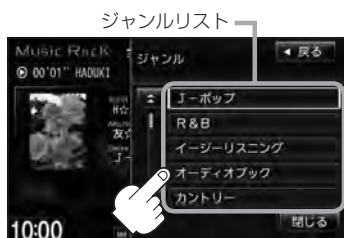
登録順表示の場合(例)



■ ジャンル をタッチした場合

: ジャンルリストが表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



アドバース

* ジャンル一覧

- | | | | | |
|-------------|------------|----------|--------------|--------|
| ・ J-POP | ・ クラブダンス | ・ パンク | ・ ポップ | ・ 演歌 |
| ・ R&B | ・ ゴスペル | ・ ヒップホップ | ・ メタル | ・ 子供向け |
| ・ イージーリスニング | ・ サウンドトラック | ・ フォーク | ・ ラテン | ・ その他 |
| ・ オーディオブック | ・ ジャズ | ・ フュージョン | ・ レゲエ | |
| ・ カントリー | ・ テクノ | ・ ブルース | ・ ロック | |
| ・ クラシック | ・ ニューエイジ | ・ ホリデー | ・ ワールドミュージック | |

● トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。

● トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。

【 「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」 E-32

■ ミュージックエスコート をタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

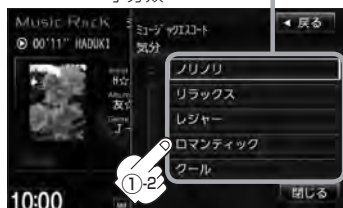
① 再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類／小分類につきましては「」（アドバイス内表）E-12を参照ください。

ミュージックエスコートリスト
大分類

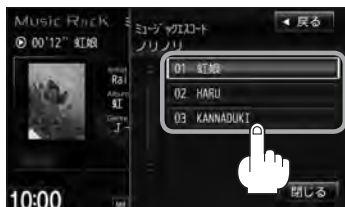


ミュージックエスコートリスト
小分類



：選択した小分類のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



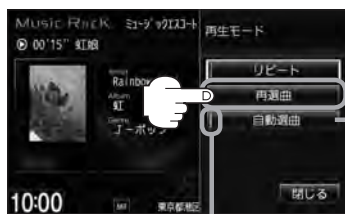
トラックリスト

：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。

 下記参照

□ 再選曲するとき



選択時点灯

1. 再生画面で **再生モード** をタッチする。

2. **再選曲** をタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が再選曲しなおし、曲を再生します。

初期状態は“自動選曲”に設定されています。

自動選曲が選択されていると、選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。



アドバイス

- ミュージックエスコートの各分類は以下のとおりとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	1960年代／1970年代／1980年代／1990年代／2000年代／2010年代

- ミュージックエスコートにはMCDB(CD収録属性)を利用した主観的楽曲(テンポ・シチュエーション・季節など)が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分にあわせた選曲が可能です。
- 選曲モードがミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。[E] A-18
- トラックリストはGracenote データベース／MCDB データベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択することに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
 - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
 - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
 - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ(ソロ／デュエット／グループ)の曲
 - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
 - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲
 を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
[E] 「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」E-32

■ お気に入り をタッチした場合

：お気に入りリストが表示されます。

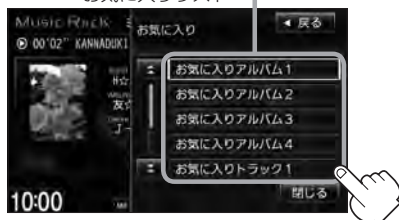
- ① 再生させたいお気に入りアルバム
1～4またはお気に入りトラック
1～4をタッチする。



アドバイス

お気に入り登録をしていないと、手順1.([E] E-13)以降の操作はできません。
[E] 「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30

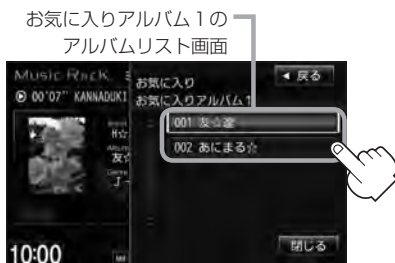
お気に入りリスト



□ **お気に入りアルバム 1 をタッチしたとき**

：お気に入りアルバム 1 に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。



：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



2. 再生したいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

□ **お気に入りトラック 1 をタッチしたとき**

：お気に入りトラック 1 に収録されているトラックリストが表示されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、 **閉じる** をタッチすると TOP 画面に戻ります。



アドバイス

ジャンルリスト(📖 E-10)、ミュージックエスコートリスト(📖 E-11)、お気に入りリスト(📖 E-12)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenote データベース / MCDB データベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。

アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などを行うことができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索なども行うことができます。

アルバム編集をする

1

編集 をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

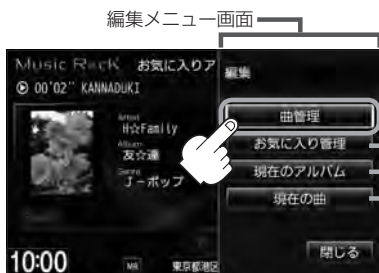


2

編集メニューより **曲管理** をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※ Music Rack 再生中は編集メニューのボタンを選択できません。メッセージが表示されるので、**はい** をタッチして再生を停止してください。



お気に入り管理 ボタン

お気に入りフォルダ名の変更や削除などを行うことができます。

📖 E-28

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

📖 E-15

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

📖 E-23

3

編集したいアルバムを選択し、

アルバム編集 をタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。



曲管理画面

3-2

3-1

アルバムリスト

※曲管理画面のその他の項目につきましては

📖 トラック表示…E-23

再生選択…E-19

お気に入り登録…E-20

ジャケット写真…E-21

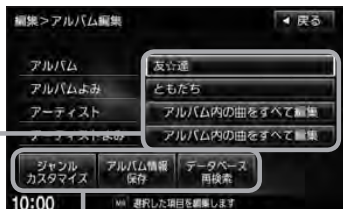
削除…E-22

を参照ください。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

アルバム編集画面(例)

タイトル名の編集をする場合は
[E-17] 下記参照



お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
[E-17, 18] 参照ください。

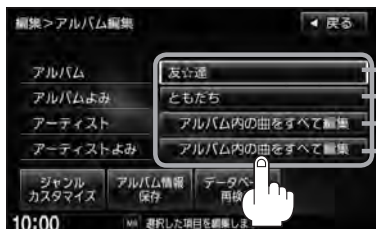
■ タイトルの編集をする場合

※アルバム名／アーティスト名や、アルバム名／アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

アルバム編集画面(例)



アルバム名
アルバム名の読みがな(読みかた)
アーティスト名
アーティスト名の読みがな(読みかた)



データベース

- アーティスト名(**アルバム内の曲をすべて編集**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面に入力してください。

※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。

- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面([E-8])／アーティストリスト画面([E-9])の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名／アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面([E-23])から確認することができます。
※再生画面(TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

② 入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

□ ひらがなとカタカナを入力するとき

例 「わわ」と入力する場合

1 わ をタッチする。
：画面上部に、「わ」があらわれます。

2 カナ をタッチする。
：50音パレットがカタカナに変わります。
※タッチするたびに
カナ → 英数
かな ←
と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

3 ワ を選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

1文字分のスペースを空けます。
← → をタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

タイトル編集画面

決定 ◀ 戻る

ダ サ カ ア

入力した文字を訂正する場合
① **訂正** をタッチする。
：1文字消去します。
※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** を1.5秒以上タッチします。
②正しい文字を入力する。

小文字に変換したい場合
小文字 をタッチする。
：50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。
※タッチするたびに **小文字** ↔ **大文字** と切り替わります。用途にあわせて切り替えてください。

□ 漢字を入力するとき

例 「桜」を入力する場合

1 さくら をタッチする。
：画面上部に「さくら」と表示されます。

2 変換 をタッチする。
：さくらに該当するリストが表示されます。

3 桜 をタッチする。
：画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に **閉じる** をタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

編集>アルバム

さくら

わ ら や ま は な た さ か あ
を り ゆ み ひ に ち し さい
ん る よ む ふ ぬ つ す く う
一 れ め へ ね て せ け え
ろ も ぼ の と そ こ お

← 訂正 変換 無変換 小文字 カナ

10:20

アルバム名を編集

変換候補
さくら
桜
佐久良
佐倉
櫻
サクラ
1/6件 閉じる

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に
← → を選択します。

※ **無変換** をタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。※ **戻る** をタッチすると入力した文字は確定されません。③ 入力を終わったら **決定** をタッチする。

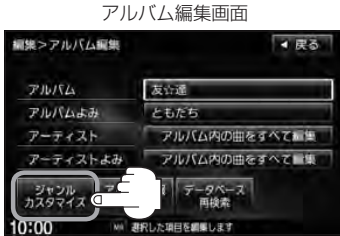
：変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。



■ ジャンルを変更する場合

※本機によって振り分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

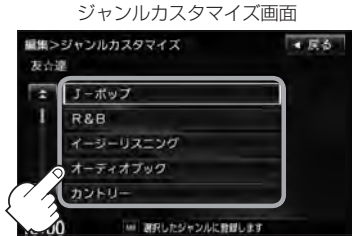
- ① **ジャンルカスタマイズ** をタッチする。



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

- ② お好きなジャンルボタンをタッチする。

※ジャンルの種類につきましては E-10 のアドバースを参照ください。

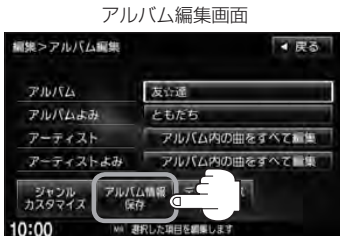


：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

■ アルバム情報を保存する場合

※本機に収録されていないタイトル情報を本機の Gracenote データベースフォルダに保存します。

- ① **アルバム情報保存** をタッチする。



：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アドハイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

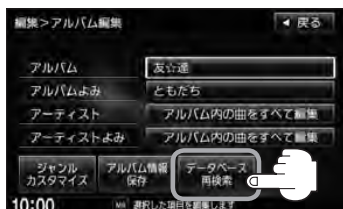
カスタムアップデート(個別更新)

1. Gracenote 音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(E-18 ①～⑥)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。(E-19 ⑦)

■ データベースから再検索する場合

① データベース再検索 をタッチする。

アルバム編集画面



※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。

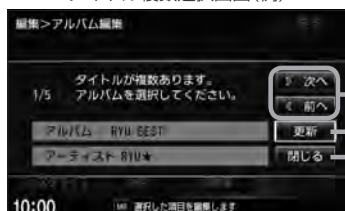


アドバイス

データベース再検索をしたとき、タイトル情報が複数ある場合は好きなアルバムを選択することができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。

タイトル複数選択画面(例)



1 **次へ** / **前へ** をタッチして次のアルバムを表示させることができます。

2 上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチします。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

再生選択をする

✓マークのアルバムのみ再生させることができます。

1

E-14の手順**1**、**2**にしたがって操作する。

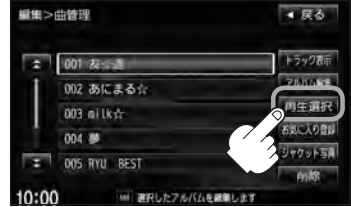
：曲管理画面が表示されます。

2

再生選択 をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

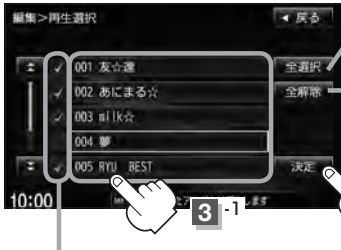
曲管理画面



3

再生させたくないアルバムを選択し、
決定 をタッチする。

再生選択画面(例)



アルバムを一括で選択することができます。
(すべてのアルバムにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのアルバムのチェックマーク(✓)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このアルバムは再生されません。

✓表示：このアルバムは再生されます。

：曲管理画面に戻ります。



アドバンス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に**前へ**／**次へ**が表示されます。
※ **前へ**／**次へ** をタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

お気に入り登録をする

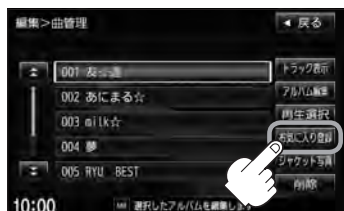
※アルバムリスト(「」E-14)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

1 E-14の手順「1」、「2」にしたがって操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 お気に入り登録したいアルバムを選択し、 「お気に入り登録」をタッチする。

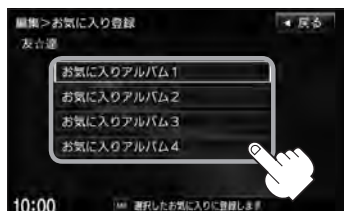
：お気に入り登録画面が表示されます。



3 登録したい場所(お気に入りアルバム 1～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するにはE-27を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
「」「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30

ジャケット写真を登録する

※メディアに保存している画像をアルバムのジャケット写真として登録し表示させることができます。

1 E-14の手順1、2にしたがって操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 表示させたいアルバムを選択し、**ジャケット写真**をタッチする。

：メディア選択画面が表示されます。



3 登録したい画像データが入ったメディア (SDカード / USB) を選択し、**ジャケット写真を選択する**をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。



4 登録したい画像データが入ったフォルダをタッチする。

：画像選択画面が表示されます。

※サムネイル表示されます。



5 登録したい画像をタッチする。

：ジャケット写真として登録され、メディア選択画面に戻ります。

※選択したアルバムに既に画像が登録されている場合は上書きするかどうかのメッセージが表示されるので **はい** / **いいえ** を選択してください。



メディア選択画面

登録された画像



アドバース

登録された画像は
再生画面で表示されます。

- Music Rackのアルバムへ登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は200×200ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
 - ※ 200×200ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。
 - ※ 16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

削除する

※アルバムを削除することができます。

1

E-14の手順1、2にしたがって操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2

削除したいアルバムを選択し、
削除 をタッチする。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチしてください。

※削除しない場合は いいえ をタッチしてください。



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

アーティスト名／トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

トラック編集をする

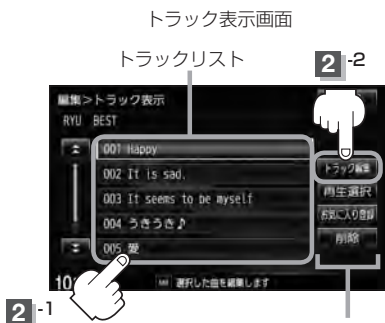
- 1** E-14の手順**1**、**2**にしたがって操作し、
手順**3**のとき編集したいアルバムを選択し、
トラック表示をタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。



- 2** 編集したいトラックを選択し、
トラック編集をタッチする。

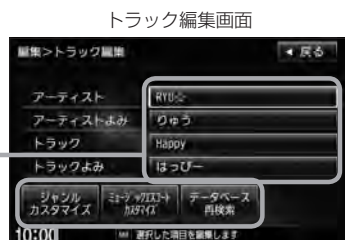
：トラック編集画面が表示されます。



※トラック表示画面のその他の項目につきましては
[再生選択…E-26](#)
[お気に入り登録…E-27](#)
[削除…E-27](#)
 を参照ください。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほか、
ジャンルやミュージックエスコートの変更、データ
ベースの再検索をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は
[E-24参照](#)



お好きなジャンルやミュージックエスコートに
変更したりデータベースの再検索をする場合は
[E-24、25参照](#)ください。

トラックリストの編集(曲管理)

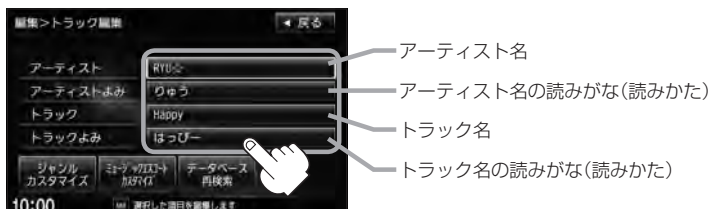
■ タイトルの編集をする場合

※アーティスト名／トラック名や、アーティスト名／トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アドバイス

- アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。)
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(E-9)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は「データベース再検索」をタッチしてください。

② 入力する。

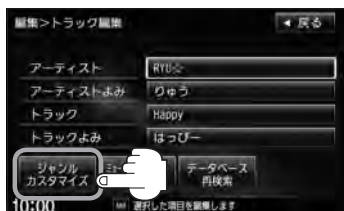
※入力のしかたはE-16を参考にしてください。

■ ジャンルを変更する場合

※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① ジャンルカスタマイズ をタッチする。

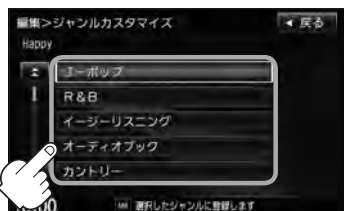
トラック編集画面



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② お好きなジャンルボタンをタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面



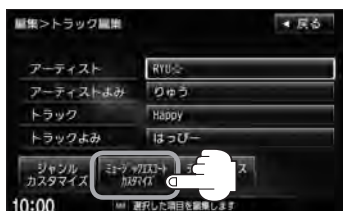
：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

■ ミュージックエスコート(分類)を変更する場合

※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

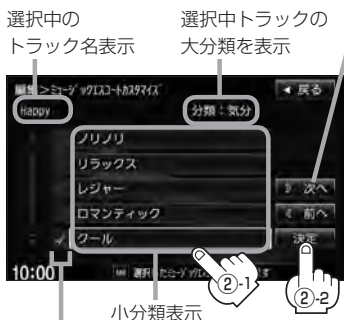
① ミュージックエスコートカスタマイズ をタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



② リストより小分類を選択し、決定 をタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☐表示：設定されていません。

☒表示：設定されています。

※ミュージックエスコートの大分類/小分類(一覧)につきましてはE-12のアドバイスを参照してください。

※ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

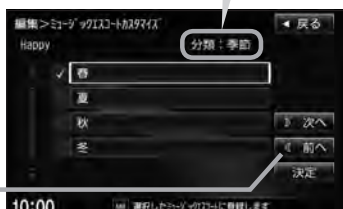
前へ / 次へ タッチで大分類が

気分 ↔ 季節 ↔ 時間帯 ↔ タイアップ
イベント ↔ シチュエーション
と切り替わる

次へ をタッチすると次の大分類の小分類リストを表示



前へ をタッチすると1つ前の大分類の小分類リストを表示

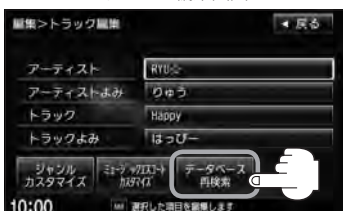


：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、トラック編集画面に戻ります。

■ データベースから再検索する場合

① データベース再検索 をタッチする。

トラック編集画面



※誤ったタイトル(アーティスト名/トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を書き直すことができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。

再生選択をする

✓マークのトラックのみ再生させることができます。

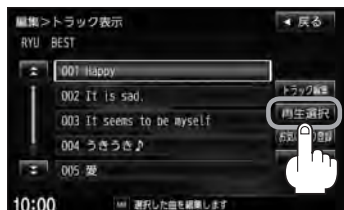
1E-14の手順**1**、**2**にしたがって操作し、**トラック表示** をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

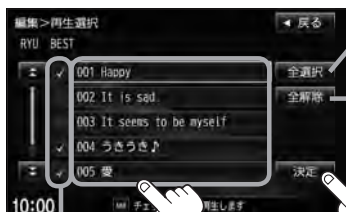
2**再生選択** をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

トラック表示画面

**3**再生させたくないトラックを選択し、**決定** をタッチする。

再生選択画面(例)



- トラックを一括で選択することができます。
(すべてのトラックにチェックマーク(✓)が付きます。)
- 選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのトラックのチェックマーク(✓)を消します。)

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このトラックは再生されません。

✓表示：このトラックは再生されます。

：曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の選択アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** が表示されます。

※ **前へ** / **次へ** をタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

お気に入り登録をする

※トラック表示画面より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

1

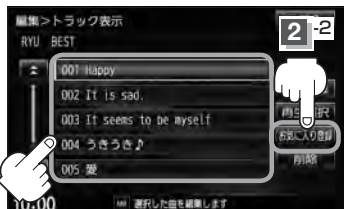
E-14の手順**1**、**2**にしたがって操作し、**トラック表示** をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

2

お気に入り登録したいトラックを選択し、**お気に入り登録** をタッチする。

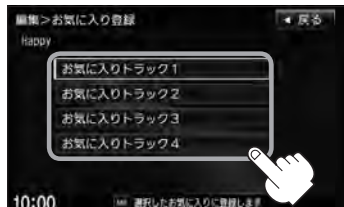
：お気に入り登録画面が表示されます。

**3**

登録したい場所(お気に入りトラック1～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アドバイス

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するにはE-14、E-20を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。**[再生]**「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30

削除する

※トラックを削除することができます。

1

E-14の手順**1**、**2**にしたがって操作し、**トラック表示** をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

2

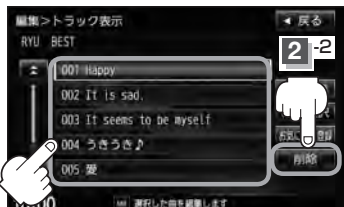
削除したいトラックを選択し、

削除 をタッチする。

：選択したトラックを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい** をタッチしてください。

※削除しない場合は**いいえ** をタッチしてください。

トラック表示画面



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。

お気に入り入りを管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム／トラックの)削除をすることができます。

1

編集 をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



2

編集メニューより **お気に入り管理** をタッチする。

編集メニュー画面



曲管理 ボタン

アルバム／トラックの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などを行うことができます。

【P E-14

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

【P E-15

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

【P E-23

：お気に入り管理画面が表示されます。

3

編集したいお気に入りフォルダ

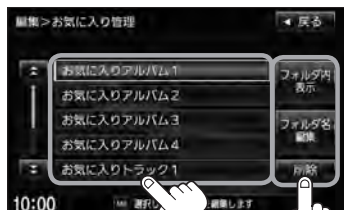
(**お気に入りアルバム1** ～ **お気に入りアルバム4**)

または **お気に入りトラック1** ～ **お気に入りトラック4**)

を選択し、操作したい項目(**フォルダ内表示** ／

フォルダ名編集 ／ **削除**)をタッチする。

お気に入り管理画面



3-1

3-2



アドバイス

お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。

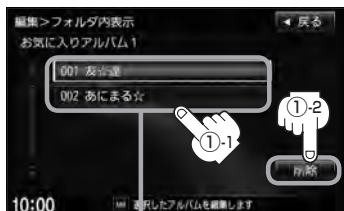
【P E-20、E-27、E-30

■ フォルダ内表示 をタッチした場合

：フォルダ内表示画面が表示されます。

- ① 削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、**削除**をタッチする。

フォルダ内表示画面



E-28手順③で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

- ② 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。



：選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 をタッチした場合

：タイトル編集画面が表示されます。

- ① 50音パレットを使って入力し、**決定**をタッチする。

※入力のしかたはE-16を参考にしてください。

※タイトル(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4の名前)を変更することができます。



■ 削除 をタッチした場合

- ① 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。

：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。

※選択したお気に入りフォルダ(アルバム1～4／トラック1～4)内の曲を一括で(1フォルダ(最大200アルバム)ごと)削除することができます。



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

再生中の曲をお気に入りに登録する

再生中の曲をお気に入りに登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

登録 をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



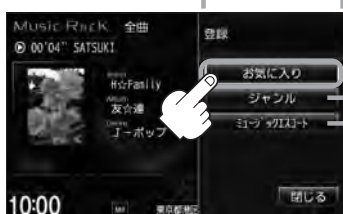
2

お気に入り をタッチする。

※ Music Rack 再生中はお気に入りに登録できません。

メッセージが表示されるので、**はい** をタッチして再生を停止してください。

登録メニュー画面



ジャンル ボタン

1 曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。

[P E-32]

ミュージックエスコート ボタン

再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。

[P E-33]

：お気に入りに登録画面が表示されます。

3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合は

お気に入りアルバム1 ～ **お気に入りアルバム4** の中から、

再生中トラックを登録したい場合は

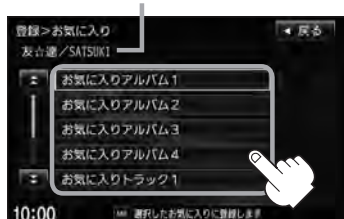
お気に入りトラック1 ～ **お気に入りトラック4** の中から

登録したい場所をタッチする。

：選択したお気に入りに登録され、手順 **1** の画面に戻ります。

お気に入りに登録画面

アルバム名／トラック名を表示
(長い場合は途中までの表示となります。)





アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
 「お気に入り进行管理する」E-28
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
 - ・ アルバムを登録するときは
 「**お気に入り登録をする**」E-20にしたがって操作する。
 - ・ トラックを登録するときは
 「**お気に入り登録をする**」E-27にしたがって操作する。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

お気に入りアルバム1

 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム2

 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム3

 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム4

 フォルダ 200アルバム
(200CD)
4つのアルバム
フォルダ1フォルダに200アルバム
合計800アルバム登録可能

お気に入りトラック1

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック2

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック3

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック4

 フォルダ 200トラック
(200曲)
4つのトラック
フォルダ1フォルダに200曲
合計800曲登録可能

再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によって分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1

登録 をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2

設定(カスタマイズ)しなおしたい項目(**ジャンル** / **ミュージックエスコート**)をタッチする。

※ Music Rack 再生中は設定できません。

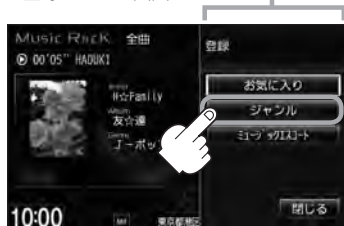
メッセージが表示されるので、**はい** をタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

① **ジャンル** をタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

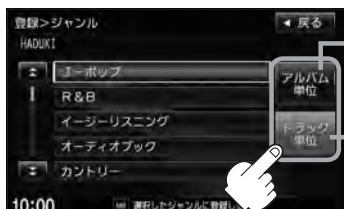
登録メニュー画面



② **アルバム単位** または **トラック単位** をタッチする。

③ お好きなジャンルをタッチする。

選択中のトラック名または
アルバム名を表示



選択中アルバムの
ジャンル変更
となります。
選択中トラック
のジャンル変更
となります。



：ジャンルは変更(登録)され
TOP画面に戻ります。

※ジャンルの種類につきましてはE-10アドバイス内「*ジャンル一覧」を参照ください。

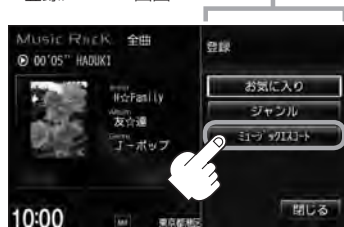
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

① ミュージックエスコートをタッチする。

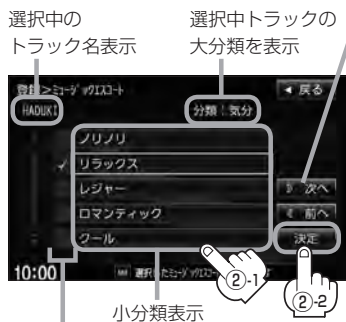
：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー画面



② リストより小分類を選択し、**決定** をタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：設定されていません。

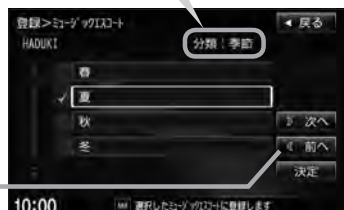
✓表示：設定されています。

前へ / 次へ タッチで大分類が

気分 ↔ 季節 ↔ 時間帯 ↔ タイアップ ↔
イベント ↔ シチュエーション ↔
と切り替わる

次へ をタッチ
すると次の大分
類の小分類リス
トを表示

前へ をタッチ
すると1つ前の
大分類の小分類
リストを表示



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

分類	
大分類	小分類
気分	ノリノリ／リラックス／ レジャー／ロマンティック／ クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝
：	：
：	：
：	：

- ミュージックエスコートの大分類／小分類の一覧につきましてはE-12アドバイスを参照してください。
- ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

F

USB機器を使う (USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)

本機はUSBフラッシュメモリとウォークマン®を接続し、使用することができます。
本書ではUSBフラッシュメモリとウォークマン®を総称してUSB機器と記載しています。

各部の名称とはたらき	F-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の タッチパネル部について	F-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の 表示部(再生画面)について	F-3
画像再生(画像ファイルモード)の タッチパネル部について	F-4
画像再生(画像ファイルモード)の 表示部について	F-4
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ	F-5
選曲モードより選ぶ	F-9
USB機器について	F-13
ウォークマン®について	F-14
対応可能なウォークマン®	F-15
USB機器を接続する	F-16
USB機器を本機に接続する	F-16
USB機器の接続をやめる	F-16

USB機器(USBフラッシュメモリ/ウォークマン®)内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。

- ・MP3/WMA/AACファイル(USBフラッシュメモリ)……音楽再生 [F-2、F-3]
- ・MP3/WMA/AAC/ATRAC3/ATRAC3Plus(ウォークマン®)……音楽再生 [F-2、F-3]
- ・JPEGファイル……画像再生 [F-4]

※動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)の切り替えにつきましてはA-22を参照ください。

- パネル部に配置されているボタンにつきましては [A-2] を参照ください。
- 画像はUSBフラッシュメモリ再生時を記載しています。ウォークマン®再生時も同様の表示(操作)となります。

音楽再生(音楽ファイルモード)のタッチパネル部について

USB(USBフラッシュメモリの音楽ファイル)TOP画面
(詳細表示時(例))



- ① **Sound** ボタン
イコライザー設定画面を表示します。 [A-31]
- ② **♪** ボタン(詳細情報)
トラックの詳細情報を表示します。 [F-6]
- ③ **≡** ボタン(トラックリスト)
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
[F-5]
- ④ **📁** ボタン(フォルダリスト)
フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
[F-5]
※ソニー社製ATRAC AD対応ウォークマン®を接続している場合、**📁** ボタン(フォルダリスト)が
🎵 ボタン(アルバムリスト)表示に変わります。
[F-7]
- ⑤ **切替** ボタン
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
[A-12]
- ⑥ **選曲モード** ボタン
選曲モード(全曲/フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
[F-9]
- ⑦ **再生モード** ボタン
リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
[A-15]
- ⑧ **モード切替** ボタン
USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)を切り替えます。
[A-22]
- ⑨ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。
[M-2]

音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について

USB フラッシュメモリを接続している場合(詳細表示時(例))



① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。[F] A-22

④ 選曲モード

選択中の選曲モードの内容を表示します。

[F] F-9

⑤ トラック名表示*1

⑥ アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示／フォルダ名表示☆

⑦ 音場表示

選択中の音場を表示します。[F] A-28

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

[F] A-31

⑧ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましては[F] A-15を参照ください。

⑨ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 / WMA / AAC / DMA ☆

⑩ ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。

[F] H-11 *印参照



アドバンス

●アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名☆の表示文字数は全角32(半角64)文字です。

●アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。

* 1 印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。

●タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。

※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

☆印…ウォークマン®を接続している場合は DMA マークが表示されます。ウォークマン®接続中の再生画面にフォルダ名は表示されません。

画像再生(画像ファイルモード)のタッチパネル部について

USBモード(USBフラッシュメモリの画像ファイル)TOP画面(例)



① 前へ / 次へ ボタン

好きなファイル(画像)を選びます。[P A-23]

② 切替 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ 切替 をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ スライドショー ボタン

一定の間隔で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。[P A-23]

④ 回転 ボタン

表示中の画像を90度ずつ回転します。[P A-24]

⑤ リスト ボタン

画像の入っているフォルダを表示します。

[P A-24]

⑥ モード切替 ボタン

USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)を切り替えます。

[P A-22]

⑦ Quick ボタン

カスタマイズメニューを使用することができます。

[P M-2]

画像再生(画像ファイルモード)の表示部について



① 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。[P A-22]

② 画像名表示

③ 画像撮影日表示

年、月、日を表示します。

※ウォークマン®のリスト表示につきましては、[F-8](#)を参照ください。

1

≡ または **📁** をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順**1**を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ **≡** をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード([F-9](#))で選択したボタン(全曲/フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ **📁** をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

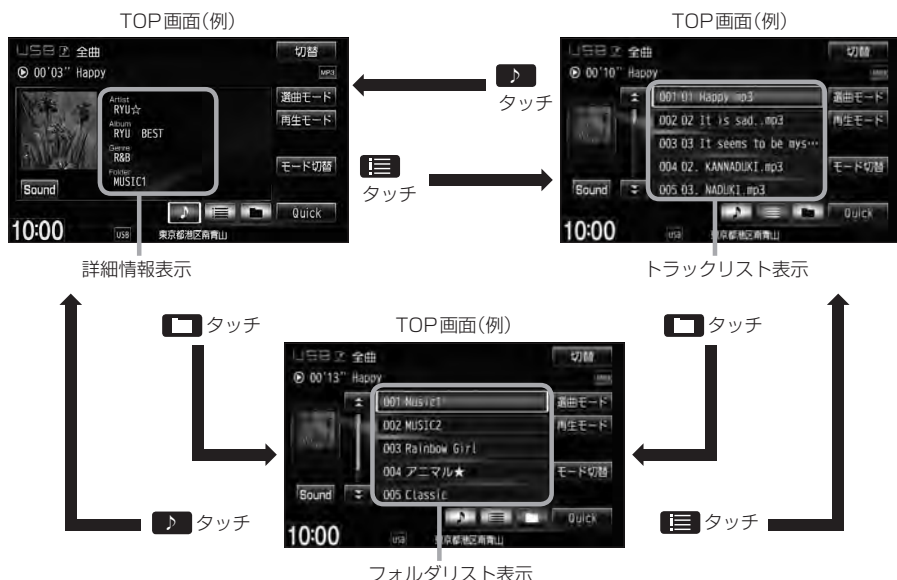
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

音楽ファイル



アドバイス

TOP画面は選択する / / によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。



2

再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- を押してトラックを選択することもできます。[P] A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

※フラッシュメモリのリスト表示につきましては「F-6」を参照ください。

1

 または  をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバンス

選曲モード(「F-9」)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/グループ/プレイリスト)のトラックリスト表示となります。

■ をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。



アドバンス

選曲モード(「F-9」)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。

※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバムのリスト表示となります。

※選曲モードでジャンル/グループ/プレイリストを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

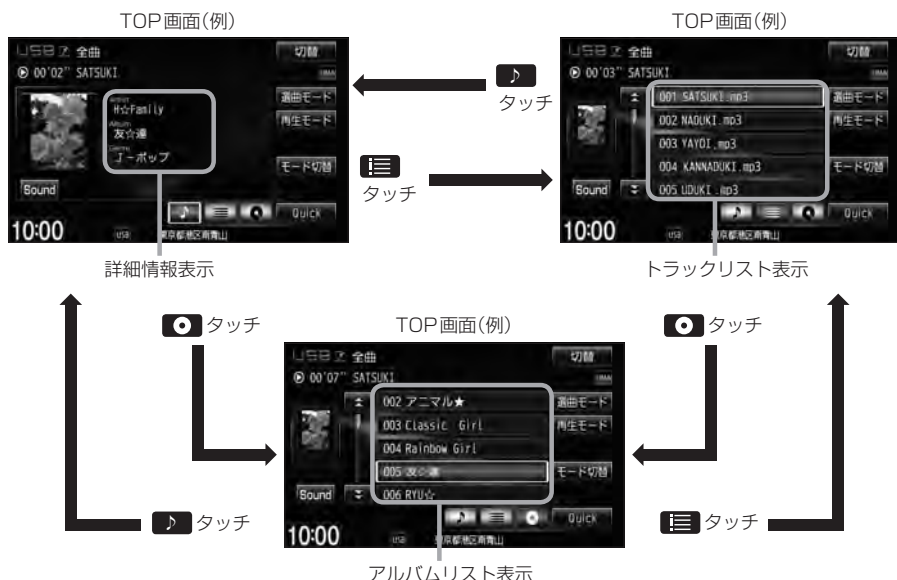
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

音楽ファイル



アドバイス

TOP画面は選択する / / によって詳細表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。



2

再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- を押してトラックを選択することもできます。[A-13]
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP 画面(詳細表示時(例))



2

選曲モードより選曲する方法を選択する。

■ USBフラッシュメモリの場合 (MP3 / WMA / AAC)

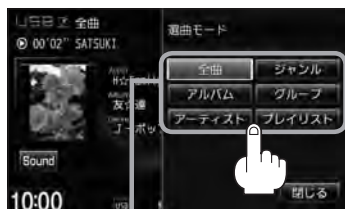
全曲 / **フォルダ** より選択する。



選曲モード

■ ウォークマン® の場合 (OMA)

全曲 / **アルバム** / **アーティスト** /
ジャンル / **グループ** / **プレイリスト**
より選択する。



選曲モード

USB
機器



アドバース

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- USB フラッシュメモリの場合、停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。
- ウォークマン® の場合、停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

トラックリスト画面(例)
USB フラッシュメモリの場合



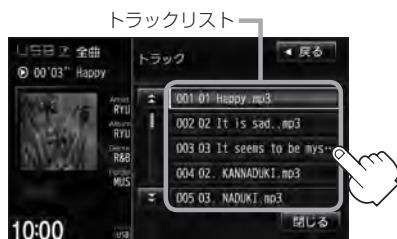
※ USB 機器に収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※ 選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチすると TOP 画面に戻ります。

□ **全曲** をタッチした場合

：トラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

□ **フォルダ** をタッチした場合 (USBフラッシュメモリ再生時)

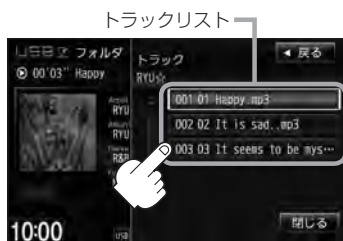
：フォルダリストが表示されます。

① 再生させたいフォルダをタッチする。



：選択したフォルダに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

□ **アルバム** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

：アルバムリストが表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。



アルバムリスト

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



トラックリスト

：選択した曲を再生します。

□ **アーティスト** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: アーティストリストが表示されます。

- ① 再生させたいアーティストをタッチする。



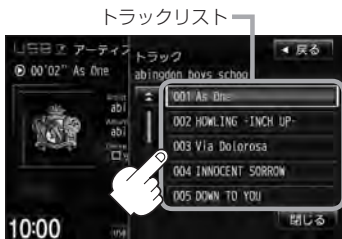
: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

- ② 再生させたいアルバムをタッチする。



: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

- ③ 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。

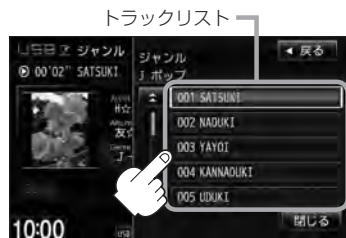
□ **ジャンル** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: ジャンルリストが表示されます。

- ① 再生させたいジャンルをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



: 選択した曲を再生します。



アドバイス

ウォークマン®再生時のジャンル(ジャンルリスト)はお客様が入れたものとなります。

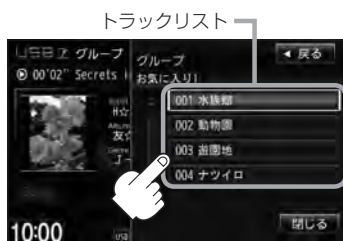
□ **グループ** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: グループリストが表示されます。

- ① 再生させたいグループをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したグループのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



: 選択した曲を再生します。

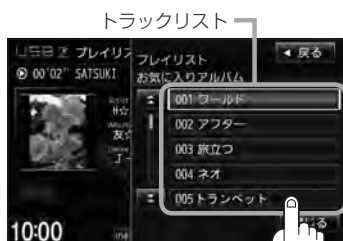
□ **プレイリスト** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: プレイリストが表示されます。

- ① 再生させたいグループをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



: 選択した曲を再生します。

3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

: **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

USB 機器に MP3 / WMA / AAC / JPEG 形式で作成された音楽 / 画像データを本機で再生することができます。

- 本機の再生仕様から外れる音楽 / 画像ファイルは再生できません。

☞ 音楽ファイル…D-7、H-11 / 画像ファイル…M-3

- MP3 / WMA / AAC / ATRAC3 / ATRAC3plus は音声圧縮フォーマットです。

- MP3 / WMA の規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては

☞ 「MP3 / WMA ファイルについて」D-6 を参照ください。

- AAC の規格 (サンプリング周波数 / ビットレート / ファイル名など) につきましては

☞ 「● AAC の規格について」H-11 / 「● 音楽ファイルの再生について」「● 音楽ファイルのファイル名について」H-12 を参照ください。

- JPEG につきましては ☞ 「画像ファイル (JPEG) について」M-3 を参照ください。

- USB 機器 (USB フラッシュメモリ / ウォークマン®) 内のデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された “USB 機器” は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。

- 本機には USB 機器は付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

- 32GB までの容量の USB フラッシュメモリに対応しています。また、256MB 以上の USB フラッシュメモリの使用をおすすめします。

※ウォークマン®につきましては ☞ F-14 を参照ください。

- 別売の USB メモリーデバイスコードに USB 機器を接続してご使用ください。

☞ 「USB 機器を接続する」F-16

- マスストレージクラスの USB フラッシュメモリ、および ATRAC AD 対応のウォークマン®に対応しています。

- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。

- 電流が 500mA を超えるデバイスには対応していません。

- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。

- セキュリティ機能など特殊な機能が付いている USB 機器には対応していません。

- USB 機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。

- USB 機器の音楽再生中に USB 機器 (または別売の USB メモリーデバイスコード) を外さないでください。

※USB モードを終了 (OFF 状態に) させてから外してください。

- FAT16 / FAT32 のファイルシステムに対応しています。

- USB ハブ、USB 延長ケーブルを介した接続には対応していません。

- すべての USB 機器の動作保証するものではありません。

- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によっては USB 機器の保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

- USB 機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

- USB 機器が接続されているときに、USB 機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。

F-14 ウォークマン®について

- 本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。
 - ※ 2011年2月現在に発表されているものに限りです。
 - ※ Windows Media Video(WMV)には対応していません。
 - ※ Walkman Phoneには対応していません。
 - ※ 対応可能なウォークマン®につきましては「対応可能なウォークマン®」F-15を参照ください。
 - ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の取扱説明書を参照ください。
 - ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless/WAV(PCM)形式の曲には対応していません。
 - 本機の電源ON状態でウォークマン®接続中は、充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
 - ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。
 - ※ 拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
 - ※ 異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
 - ※ 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
 - ウォークマン®付属のx-アプリ、Sonic Stageから転送した音楽ファイルのみに対応しています。
 - ドラッグ&ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transferで転送した音楽ファイルには対応していません。
 - ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
 - ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
 - 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®の対応している階層とは異なります。)
 - ウォークマン®を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
 - ウォークマン®が接続されているときに、ウォークマン®の上に乗ったり、物を上に置かないでください。
 - 「歌詞ピタ」サービス/「ちょい聴きmora」サービス/おまかせチャンネル/お出かけ転送/ポッドキャスト/カラオケ・語学学習モードには対応していません。
- ※ “WALKMAN” “ウォークマン” はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless” は、ソニー株式会社の商標です。
- ※ x-アプリ、Sonic Stage、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- ※ 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- ※ moraおよびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。

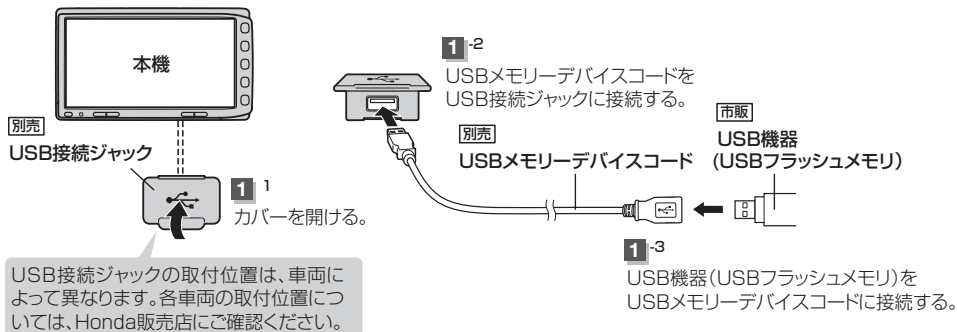
対応可能なウォークマン®

2011年2月現在

モデル名	ミュージック(音楽)	フォト(画像)
NW-E305 / E307	○	×
NW-E405 / E407	○	×
NW-E505 / E507	○	×
NW-E002 / E003 / E005	○	×
NW-E013 / E015 / E016	○	×
NW-E023F / E025F / E026F	○	×
NW-E042 / E043 / E044	○	×
NW-E052 / E053	○	×
NW-E052K / E053K	○	×
NW-A605 / A607 / A608	○	×
NW-A805 / A806 / A808	○	○
NW-A916 / A918 / A919	○	○
NW-A828 / A829	○	○
NW-A845 / A846 / A847	○	○
NW-A855 / A856 / A857	○	○
NW-S203F / S205F	○	×
NW-S603 / S605	○	×
NW-S703F / S705F / S706F	○	×
NW-S615F / S616F	○	○
NW-S636F / S638F / S639F	○	○
NW-S715F / S716F / S718F	○	○
NW-S736F / S738F / S739F	○	○
NW-S644 / S645	○	○
NW-S744 / S745 / S746	○	○
NW-S754 / S755 / S756	○	○
NW-S636FK / S638FK	○	○
NW-S736FK / S738FK	○	○
NW-S644K / S645K	○	○
NW-S744K / S745K	○	○
NW-S754K / S755K	○	○
NW-X1050 / X1060	○	○
NW-HD1	×	×
NW-HD2	×	×
NW-HD3	×	×
NW-HD5 / HD5H	×	×
NW-A1000 / A1200	×	×
NW-A3000	×	×
NW-E103 / E105 / E107	×	×
NWD-W202	×	×
NWD-W253	×	×

USB 機器を本機に接続する

- 1 別売のUSB接続ジャックと別売のUSBメモリーデバイスコードを使用してUSB機器を接続する。



アドバース

USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外して下さい。[G-17]

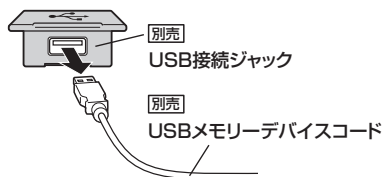
※USB機器使用時は、iPodは使用できません。

USB 機器の接続をやめる

- 1 [電源] を押す。([A-9])

：AV電源をOFFします。

- 2 USB接続ジャックからUSBメモリーデバイスコードを外す。



- 3 カバーを閉じる。

※USBメモリーデバイスコードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損する恐れがあります。



アドバース

- USB機器を外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
- ※USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器(またはUSBメモリーデバイスコード)を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

G

iPod を使う

各部の名称とはたらき	G-2
タッチパネル部について	G-2
表示部(再生画面)について	G-3
トラックリストより好きなトラックを選ぶ	G-4
選曲モードより選ぶ	G-5
再生を一時停止する	G-10
映像データを再生させる	G-11
iPod について	G-15
iPod とは	G-15
使用上のご注意	G-15
対応可能な iPod	G-16
iPod を本機に接続する	G-17

タッチパネル部について

iPodモード(ミュージックモード)TOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound** ボタン

イコライザー画面を表示します。

☞ A-31

② **♪** ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。

☞ G-4

③ **≡** ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。

☞ G-4

④ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

☞ A-12

⑤ **選曲モード** ボタン

選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。

☞ G-5

⑥ **▶||** ボタン(再生/一時停止)

再生中にタッチすると音声/映像が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

☞ G-10

⑦ **再生モード** ボタン

リピート/シャッフル再生の選択をすることができます。

☞ A-15

⑧ **モード切替** ボタン

iPod内のデータの種類によって、動作モード(ミュージックモード/ビデオモード)を切り替えます。

☞ G-11

⑨ **Quick** ボタン

カスタマイズメニューを使用することができます。

☞ M-2

表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し
 || : 一時停止

② 再生時間表示

③ 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。

☞ G-11

④ トラック名表示

⑤ アーティスト名表示／アルバム名表示

⑥ 音場表示

選択中の音場表示します。☞ A-28

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

☞ A-31

⑦ リピート／シャッフル再生時に表示

表示内容につきましては☞ A-15を参照ください。

⑧ ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。



アドバース

- 表示内容はiPod本体で表示されるアーティスト名／トラック名／アルバム名となります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では～(ハイフン表示)となります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPodはiPodモードで再生します。USBモードでは動作しません。

トラックリストより好きなトラックを選ぶ

選曲モード(G-5)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ポッドキャスト/ジャンル/プレイリスト/作者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1

をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))



アドバイス

TOP画面は選択する / によって詳細表示/トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

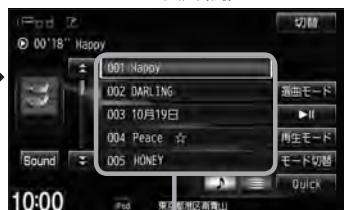


詳細表示

タッチ

タッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

iPodモード TOP画面
(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- を押してトラックを選択することもできます。 A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))



2

選曲モードより選曲する方法(**全曲** /

アルバム / **アーティスト** / **ポッドキャスト** /

ジャンル / **プレイリスト** / **作曲者**) を選択する。



アドバイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

トラックリスト画面(例)



iPod

※選曲モードは、iPod本体に収録されている内容となります。

※ iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

選曲モードより選ぶ

■ **全曲** をタッチした場合

：全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

■ **アルバム** をタッチした場合

：アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が再
生されます。

：選択した曲を再生します。



すべて をタッチすると iPod 内全曲のトラック
リスト表示とともに、曲が再生されます。



■ **アーティスト** をタッチした場合

：アーティストリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいアーティストをタッチする。 ② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アーティストリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内の全アルバムが表示されます。—さらに—

アルバムリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

- ③ 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

：選択した曲を再生します。

■ **ポッドキャスト** をタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいポッドキャストをタッチする。 ② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャスト画面



：選択したポッドキャストに収録されているリスト表示とともに、ポッドキャストが再生されます。

ポッドキャストリスト画面



：選択したポッドキャストを再生します。

■ **ジャンル** をタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod 内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod 内の全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順④へ

② 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて をタッチすると①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順④へ

③ 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて をタッチすると②で選択したアーティストのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順④へ

④ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



アドバイス

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)は iPod 本体に収録されている内容となります。(iPod の内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

■ **プレイリスト** をタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいプレイリストをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。



：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。



：選択した曲を再生します。

■ **作曲家** をタッチした場合

：作曲家リスト画面が表示されます。

- ① 再生させたい作曲者をタッチする。 ② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、リストの一番上の曲が再生されます。



すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

→手順③へ



すべて をタッチすると①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。→手順③へ

③ 再生させたいトラックをタッチする。



3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

再生を一時停止する

1

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：再生を止めます。

再生状態を表示します。

▶：通常再生

||：一時停止

■ 再び再生を始める場合

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。



TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。

※ビデオデータを再生させるには、別売のVTRコードと別売のiPod接続コードを接続し、USB接続ジャックに接続する必要があります。接続方法につきましては、**「G-17」**を参照してください。

1

モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。



ミュージックモードを表します。

iPodモード TOP画面
(詳細表示時(例))



2

ビデオモード をタッチする。

：iPodビデオモードに切り替わり、映像が表示されます。

モード切替画面



映像(例)



アドバイス

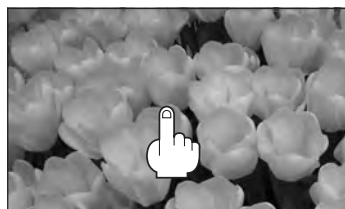
ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。



画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**モード切替** をタッチしてミュージックモード(音楽再生のみ)に戻してください。
※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。

映像データを再生させる

画面をタッチすると操作ボタンを表示させることができます。



ビデオモードを
表示します。



* 印…画面に表示されている操作ボタンを消して映像のみ表示させたい場合は **切替** をタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチします。



リスト ボタン……………動画リストより選択し、再生させることができます。

〔G-13〕

▶|| ボタン……………再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

再生モード ボタン………再生モード(リピート再生)を選択することができます。

〔G-13〕

モード切替 ボタン………ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像あり)の切り替えをすることができます。

〔G-11の手順 **1**、**2** および G-13〕

Quick ボタン……………カスタマイズメニューを使用することができます。

〔M-2〕

■ 動画リストより選択し再生させる場合

- ① 操作ボタン表示中に **リスト** をタッチする。



- ② リストより再生させたい動画をタッチする。

：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

- ① 操作ボタン表示中に **再生モード** をタッチする。



- ② **リピート** をタッチする。



：表示灯点灯しリピート機能が働きます。

※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし表示灯を消灯させてください。

■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

- ① 操作ボタン表示中に **モード切替** をタッチする。



- ② **ミュージックモード** をタッチする。

：TOP 画面(音楽再生のみ)に戻ります。



映像データを再生させる



アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード(**ビデオモード** をタッチ)にすることにより見たり、聞いたりすることができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度iPodビデオモードにすると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- 車のエンジンスイッチをO(ロック)したりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、再生していた曲は保持しないでリスト一番上の曲からの再生となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

Made for



iPod



iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are a trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。



アドバース

* 印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチのO(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod接続コードをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。

対応可能な iPod

2011年6月現在

対応モデル	対応可否	ソフトウェア
iPod 第3世代	×	—
iPod 第4世代(クリックホイール)	×	—
iPod photo 含 iPod with color display	×	—
iPod 第5世代(with video)	●	1.3
iPod classic(80G/160G)	●	1.1.2
iPod classic(120G)	●	2.0.1
iPod classic(160G)	●	2.0.4
iPod mini(第1世代)	×	—
iPod mini(第2世代)	×	—
iPod nano(第1世代)	○	1.3.1
iPod nano(第2世代)	○	1.1.3
iPod nano(第3世代)	●	1.1.3
iPod nano(第4世代)	●	1.0.4
iPod nano(第5世代)	●	1.0.2
iPod nano(第6世代)	○	1.1
iPod touch(第1世代)(ソフトウェアver1、ver2)	×	—
iPod touch(第1世代)(ソフトウェアver3)	●	3.1.3
iPod touch(第2世代)	●	4.2.1
iPod touch(第3世代)	●	4.3.2
iPod touch(第4世代)	●	4.3.2
iPhone 3G(softbank)	●	4.2.1
iPhone 3GS(softbank)	●	4.3.2
iPhone 4(softbank)	●	4.3.2

●：オーディオ・ビデオ再生可／○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可)／×：再生不可

最新の適応情報は下記 URL をご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>

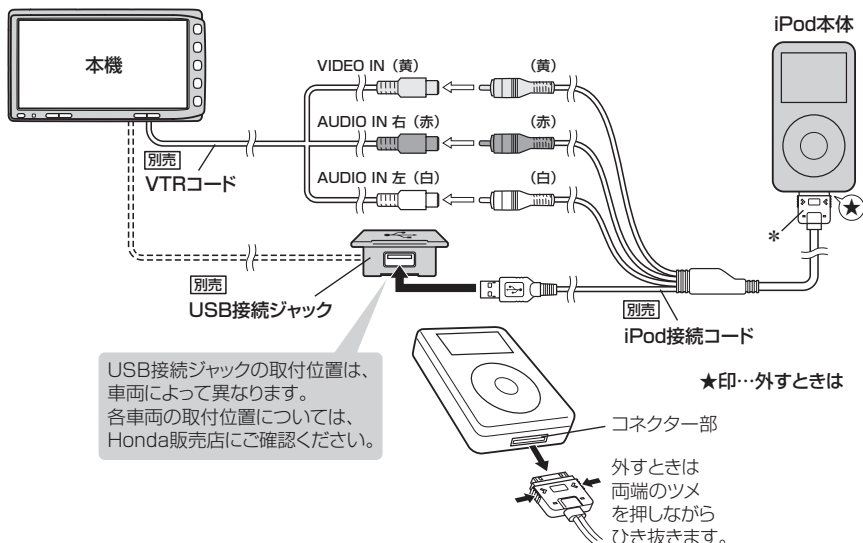
アドハイス

- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini／iPod photoには対応しておりません。
- iPod、iPad2には対応しておりません。
- iPod／iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod／iPhoneを一度リセットしてください。
リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

1

別売のUSB接続ジャックに別売のiPod接続コードを接続し、iPod本体と接続する。

※別売のVTRコードと別売のiPod接続コードを使用すると、映像・音声の再生が可能となります。



アドバイス

- USB接続ジャックにUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合はそちらを外してください。

ⓘ F-16

※ iPod使用時は、USB機器(USBフラッシュメモリ/ウォークマン®)は使用できません。

- USB接続ジャックからiPod接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損する恐れがあります。
- VTRコードにVTR機器が接続されている場合はそちらを外してください。 ⓘ K-3
- *印…コードの先端にはキャップが付いています。接続時以外はキャップをはめてください。
- 未接続の場合、AV SOURCE画面で **iPod** は選択できません。

iPod を本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。
(なにも収録されていない場合は曲を聞くことはできません。)
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチをO(ロック)にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。(ただし、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合の動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。)

H

SD(SD カード)

各部の名称とはたらき	H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の タッチパネル部について	H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の 表示部(再生画面)について	H-3
画像再生(画像ファイルモード)の タッチパネル部について	H-4
画像再生(画像ファイルモード)の 表示部について	H-4
リスト表示より好きなトラックまたは フォルダを選ぶ	H-5
選曲モードより選ぶ	H-7
SD カードについて	H-9
再生可能なデータについて	H-11
音楽ファイルのデータについて	H-11
画像ファイルのデータについて	H-12

SDカード内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。

・MP3／WMA／AACファイル……音楽再生  H-2

・JPEGファイル……画像再生  H-4

※動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)の切り替えにつきましてはA-22を参照ください。

●パネル部に配置されているボタンにつきましては  A-2を参照ください。

音楽再生(音楽ファイルモード)のタッチパネル部について

SDモード(音楽ファイル)TOP画面(詳細表示時(例))



① Sound ボタン

イコライザー画面を表示します。

 A-31

② ボタン(詳細情報)

トラックの詳細情報を表示します。

 H-6

③ ボタン(トラックリスト)

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。

 H-5

④ ボタン(フォルダリスト)

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。

 H-5

⑤ 切替 ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

 A-12

⑥ 選曲モード ボタン

選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。

 H-7

⑦ 再生モード ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。

 A-15

⑧ モード切替 ボタン

SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。

 A-22

⑨ Quick ボタン

カスタマイズメニューを使用することができます。

 M-2

音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について



① 再生状態表示

▶ : 通常再生 ►► : 早送り ◀◀ : 早戻し

② 再生時間表示

③ 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。[P] A-22

④ 選曲モード

選択中の選曲モードの内容を表示します。

[P] H-7

⑤ トラック名表示*

⑥ アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示／フォルダ名表示

⑦ 音場表示

選択中の音場を表示します。[P] A-28

*イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

[P] A-31

⑧ リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましては[P] A-15を参照ください。

⑨ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 / WMA / AAC

⑩ ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。

[P] H-11 *印参照



アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
*印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

画像再生(画像ファイルモード)のタッチパネル部について

SDモード(画像ファイル)TOP画面(例)



① 前へ / 次へ ボタン

好きなファイル(画像)を選びます。[P A-23]

② 切替 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ 切替 をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ スライドショー ボタン

一定の間隔で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。[P A-23]

④ 回転 ボタン

表示中の画像を90度ずつ回転します。[P A-24]

⑤ リスト ボタン

画像の入っているフォルダを表示します。[P A-24]

⑥ モード切替 ボタン

SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル/画像ファイル)を切り替えます。[P A-22]

⑦ Quick ボタン

カスタマイズメニューを使用することができます。
[P M-2]

画像再生(画像ファイルモード)の表示部について



① 動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。[P A-22]

② 画像名表示

③ 画像撮影日表示

年、月、日を表示します。

選曲モード(🔍 H-7)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1

📁 または 📁 をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)



■ 📁 をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード(🔍 H-7)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

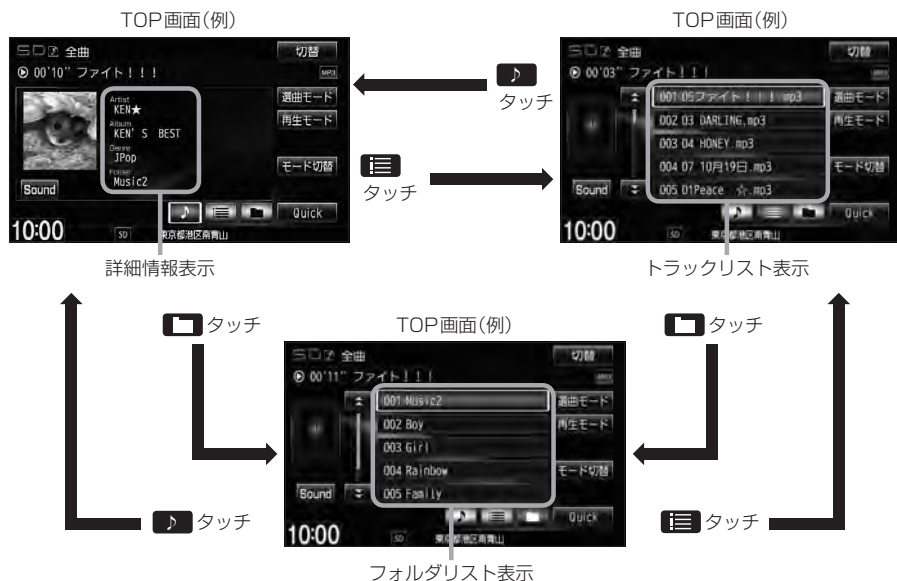
■ 📁 をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。



アドバース

TOP画面は選択する / / によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。

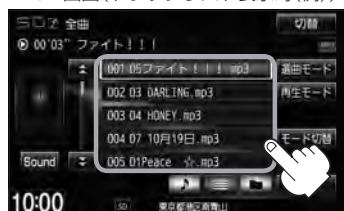


2

再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバース

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は をタッチしてください。(上記アドバース参照)
- を押してトラックを選択することもできます。[A-13]
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

1

選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP 画面 (詳細表示時 (例))



2

選曲モードより選曲する方法

(**全曲** / **フォルダ**) を選択する。

選曲モード画面



選曲モード



アドバイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレイアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

トラックリスト画面 (例)



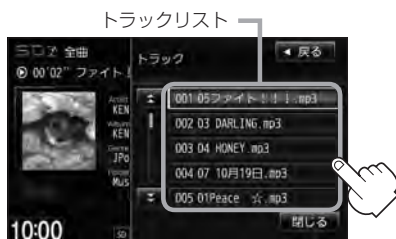
※ SD カードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※ 選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチすると TOP 画面に戻ります。

■ **全曲** をタッチした場合

：トラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

■ **フォルダ** をタッチした場合

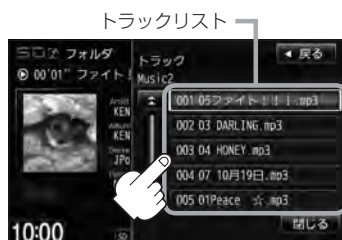
：フォルダリストが表示されます。

① 再生させたいフォルダをタッチする。



：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

3

設定を終えるには、**戻る** または **閉じる** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

- SDHCロゴは商標です。
- SD、SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。
- 本機にはSDカードは付属していません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- 本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。
- 本機はSDXCカードには対応していません。
- 本機はUHS- Iには対応していません。
- 操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機 能		SDカード (2GB以下)	SDHCカード (4GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
地点登録* [F] ナビ編 F-41		○	○	○	○
音楽データの再生 [H] H-2、3、5～8	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
画像データの再生 [H] H-4、A-23、24	JPEG	○	○	○	○
Gracenote データベースアップデート [B] B-13		○	○	○	○

*印…指定Webサイトからダウンロードした地点を確認したり、保存したルートを本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

- ノーブランド品や廉価品、バルク品、模造品などのSDカードを使用すると、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。国内メーカーから販売されている正規品のSDカードを使用してください。
- 256MB以上のSDカードの使用を推奨します。容量が少ないSDカードは正しく動作しない場合があります。
- SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
- フォーマット(初期化)について
SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
[F] 別冊の取扱説明書(ナビゲーション編)「データを初期化(消去)する」G-27
※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。
本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行ってから使用してください。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保存はしないでください。
 - ・ 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - ・ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書込中／読み込み中／本機にデータ転送中／音楽・画像再生中にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できません。
※音楽・画像再生中の場合はモードを終了(OFF状態)にさせてから抜いてください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますので買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間で使用になったあと、SDカードがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

音楽ファイル／画像ファイルデータの再生が可能です。

音楽ファイルのデータについて

- MP3／WMA／AAC ファイルを再生することができます。
- MP3／WMA／AAC は音声圧縮フォーマットです。

MP3／WMA の規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては
☞「MP3／WMA ファイルについて」D-6 を参照ください。
AAC につきましては下記を参照ください。

● AAC とは？

Advanced Audio Coding の略で MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMA などより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮の CD オーディオに迫る高音質を得ることができます。

● AAC の規格について

サンプリング周波数	16～48kHz
対応ビットレート	8～320kbps
対応プロファイル	Low Complexity
再生可能な拡張子	M4A、m4a(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名文字数	全角32文字、半角64文字
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
最大フォルダ階層	8階層
1 フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1 メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	400
表示可能なタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名
AAC タグ表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
ジャケット写真	対応*

※ 32kHz 以下のサンプリング周波数の MP3／WMA／AAC を再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※ 64kbps 以下のビットレートで作成された MP3／WMA／AAC を再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

* 印 … MP3／WMA／AAC ファイルのジャケット写真について

- ・ パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付加することができます。
※ Windows Media Player などのアプリケーションを使用してください。
- ・ MP3／WMA／AAC ファイルで対応しているジャケット写真の画像は JPEG 形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できない場合があります。
- ・ 音楽ファイルにつけられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- ・ 176 × 176 ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- ・ 1 つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録している場合、正常に表示できない場合があります。

● 音楽ファイルの再生について

- ・ ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- ・ m3u／MP3i フォーマット／MP3 PRO フォーマット／ディエンファシス／ADIF フォーマットには対応していません。
- ・ 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- ・ 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ・ 複数のオーディオプログラムが入っているファイルは再生できません。
- ・ 同一ファイル内にオーディオ以外の情報が入っているファイルは再生できません。
- ・ 選曲モード(Ⓔ H-P)のフォルダやトラックリストに表示される順番はⒺ「● 階層と再生順序について」D-10にしたがいます。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。

※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてパソコンで期待する順番(名前順など)に並べフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。

メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

● 音楽ファイルのファイル名について

フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

画像ファイルのデータについて

Ⓔ「画像ファイル(JPEG)について」M-3